

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	岡山県立津山中学校	実践者名	杉山 雄泰
教科等	社会（地理分野）	学年	第2学年
		授業活用段階 （岡山県版）	Stage 2
育成したい 資質・能力	異なる意見を取捨選択しながら主体的に学ぶとともに、自分の考えを見出し社会的事象に対する思考を深めることができる。		
単元・内容等	世界のさまざまな生活と環境（帝国書院）		
児童生徒の実態 （端末活用頻度等）	多くの教科で端末を使用しているため、問題なく使用することができる。		

活用の概要（使用アプリ名を含む）

(1) 本時のめあてをつかむ。

めあて 世界のそれぞれの地域には、どのような気候の違いがみられるのだろう。

(2) 個人で考える。

- ・ 4つの雨温図をみて、その雨温図が世界のどの都市の雨温図なのか考え、自分なりの答えと、その答えに至った考えを1人ずつスプレッドシートに記入する

答え	ブエノスアイレス	北京	マニラ	パリ
考え	まず、Aの都市は南半球であるためブエノスアイレスかキャンベラと考えられる。また、Aの都市は涼しい気候と考えると、ブエノスアイレスと考えました。次に、Bの都市は			
答え	ブエノスアイレス	北京	マニラ	パリ
考え	雨温図から、南半球で、キャンベラかブエノスアイレスと考えられる。気温からブエノスアイレスだとかんがえた。			
答え	ブエノスアイレス	北京	マニラ	パリ
考え	気温から、南半球であり、キャンベラの気候ではないと考えた(A) おそらく、温暖湿潤気候ではないかと考えた(B) 降水量の量が多い			

(3) グループで話し合う。

- ・ スプレッドシートに書いた答えと考えを班ごとに共有しながら、班としての答えを考える。

(4) 全体で話し合う。

- ・ 学級全体でスプレッドシートを共有しながら、なぜその答えになったのか吟味と反駁を行いながら話し合う。

(5) 教師が作成した「世界の気候動画（全5本）」を視聴し、復習する。



実践者の手ごたえ

生徒の考えを短時間で共有できるので、学級全体での話し合いの際に意図的な指名ができるなど、授業のコーディネートがしやすくなる。また、話し合いに多くの時間を使うことができるので、生徒の思考をより深めることができると感じた。

児童生徒の振り返りや反応等

(生徒の様子)
自分の答えや考えを班のメンバーやクラスで、すぐに共有することができるので、意欲的に取り組む生徒が多く、さらに生徒自身が新たな視点に気付くことができた。また、相手の考えがわかった上で話し合うことができ、より具体的な内容について意見を交換することができた。